

途

・キネマティックモデルの総合化計算

用

特

徴

- ・有効雨量Reの算定方法は9種類が可能。
- ・流入出ポイントで任意のハイドロ(+:流入・-:流出)指定が可能。
- ・観測ポイントで実績^イドロ・HQ曲線・横断面形状・危険水位・ 警戒水位等の表示が可能
- ・ダムの設定が可能
- ・河道の通水面積Aと流量Qから河道の定数K, Pの解析が可能。

仕 様

対 応 基 準 • 参 考 書	 ・河川砂防技術基準 H26年4月 国土交通省 ・建設省河川砂防技術基準 H9年版・S61年版 国土交通省 ・中小河川計画の手引き(案)1999年版 財)国土技術研究センター ・水文・水資源ハンドブック 2003年版 水文・水資源学会 ・土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 計画「排水」H31年4月 社団法人 農業土木学会 ・水理公式集・水理公式集例顕集 H1年版 S60年版 土大学会
	・水理公式集 例題プログラム集 1113年版 十大学会
	・実用河川計画 千田稔 著 理工図書
	・応用水文統計学 岩井・石黒共著 1970年版 森北出版
流域の河道	•K, P入力
定数入力法	・G, M入力
	・簡略式(n:粗度係数, i:勾配, b:川幅)でK, Pを推定
河道定数解析	・流水断面積A~流量Qから推定
	・流水断面積A~A・R ^{2/3} から推定
有効雨量Reの	・有効雨量Reを入力(観測雨量R=有効雨量Re)
取り扱い	・観測雨量Rを入力して有効雨量Reを算定
雨量データの適用	流域の左岸・右岸にそれぞれ別のデータ適用も可能。
有効雨量Reの	1.累加雨量・損失雨量曲線法
算定方法	2.2段階モデル法(f1, fsa, Rsa)
	3.3段階モデル法(f1,f2,fsa,Rfsa,Rsa)
	4.一定比損失法(一律の流出係数f)
	5.経過時間ごとの流出係数f(t)法
	6.一定量損失法(総雨量と流去率:海面干拓S41)
	7.上記4と6の総流出係数を比較して大なる方を使用
	8.雨水保留曲線法(土地改良·排水H18)
	9.Hortonの方法
システム運用	LAN対応 USBプロテクトキー採用
納入内容	・プログラムインストール DVD-ROM ・プロテクトキー

適応機種及びOS

│対 応 O S	Windows8,10,11
ハードウェア	1280×720dpi以上のグラフィック機能
	DVDドライブ (インストール時)
	※web上からのインストールも可能(推奨)
	メモリ 4G以上
	推奨HD空き容量 200MG以上

·基本条件入力画面(例題5)



・有効雨量の算定条件入力画面(例題1)

基本条件(S) 相利和量(S) 有均可量Pw(D)										
	(1. 重加用量 室数6(2) 室数6(2) 室数6(2) 2. 25億七子 力次進出率す 2. 34億億千子 力次進出率す 4. 一定注視 総元世末4 総元世末4 2. 志祉学校 2. 志祉学校 2. 志祉学校 2. 二記名之的 2. 二二二 2. 二二 2. 二 2. 二二 2. 二二 2. 二二 2. 二二 2. 二二 2. 二二 2. 二二 2. 二 2. 二	損失期 (私法)(法)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(-1)(-1)(-1)(-1)(-1)(-1)(-1)(-1)(-1)(-1	 金田崎広 000008 15 15 15 15 17250a,Rhaa 19250a,Rhaa 1925	金利 素加 単れ前量 用いう 1.25億和 単れ前量 単わう 1.25億和 単れ前量 単わう 1.25億和 単れ前量 単わう 1.25億和 単わう 1.25億和 単わう 1.25億和 単わう 1.25億和 単わう 1.25億和 単わう 1.25億和 単わう 1.25億和 単わう 1.25億和 単わう 1.25億和 単わう 1.25億和 単わう 1.25億和 単わう 1.25億和 単わう 1.25億和 単わう 1.25億和 単わう 1.25億和 日のう 1.25 日のう 1.25 日のう 1.25 日のう 1.25 日のう 1.25 日のう 1.25 日のう 1.25 日のう 1.25 日のう 1.25 日のう 1.25 日のう 1.25 日のう 1.25 日のう 1.25 日のう 1.25 日のう 1.25 日のう 1.25 日のう 1.25 日のう 1.25 日のう 1.25 1.	新量Read 期末期 日本(ma) 目 日本(ma) 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	ec(mel): の最大値 :: :: :: :: :: :: :: :: :: :: :: :: ::	7) 7) 2 (2005) (2 2 (2)) 2 (2))	100 mail: 44 原作此世年(m4 ⁻): 正示異知研	, , ,

・流域ユニットの配置画面(例題3)

标条件(S) 骶射雨量(B) 有効	雨量Pw(E) 口流城	●她想林*42F	←↓→ 流	城ネットワーク 【	流出計算結構	1		
流域やパワー効配置図								
流域初初-9/6成 昌								
ALADOI 11 4 30 6 = - 手続 30 6 素純各子(メ) 4 6 素純各子(メ) 4 6 三分子(ダン) 二分子(新生) ○ : 北紙 ○ : 北紙 ○ : 北紙 ○ : ジム こ : 参称 二分子(新生) 二分子(新生) 二	1 ↓ 2 →	□4 ← ↓ □7 ← ↓ ●1	□3 □6 <					

・河道定数解析の入出力画面(例題6)



・流域ネットワーク配置図
 流域ネットワーク [計算例3:中小河川計画の手引き(案) P177]
 ▽:流域 ,□:河道 ,◇:流入出ホ イント ,●:観測ホ イント ,◎:ダム

• ハイエトグ ラフ, 流出ハイド ログ ラフ計算結果 (例題 2)

・ダム, 流入, 流出ハイドログラフ (例題5)

お問い合わせは 水理計算ソフト 開発・販売元 ハイドロリック・エンジェアリング・カンパニー Yama Soft Panning ヤマソフトプランニング有限会社 〒819-0055 福岡市西区生の松原4丁目23-12 202号 ご TEL. 0120-38-0420 FAX 0120-38-0425 [Homepage] http://www.yamasoft.co.jp [e-mail] torrent@yamasoft.co.jp

・河道定数解析(例題6)

・観測ポイントでの流入、流出ハイドログラフ(例題5)

・観測ポイント 水位~河川横断面形状(例題5)

